

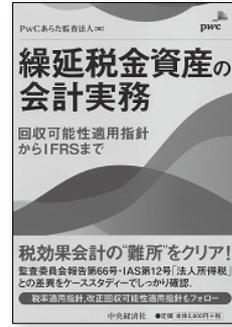
書籍紹介



実務入門 IFRSの新リース会計

(2016年4月27日)
 本書では、IFRS第16号「リース」を実務において実際に適用する場面で想定される論点や、実務における影響についても解説しています。また、米国会計基準におけるリース会計の新基準 (Topic 842) についての概要を紹介する他、IFRS第16号との主要な差異についても解説しています。

(中央経済社 / PwCあらた監査法人編)



繰延税金資産の会計実務 —回収可能性適用指針からIFRSまで—

(2016年4月22日)
 本書は、主に「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(適用指針)、連結および組織再編の税効果、IAS第12号「法人所得税」を取り上げて解説しています。また、ケーススタディーにより日本基準およびIFRSにおける会計基準間の差異を説明しています。2016年3月の適用指針の改正、2016年3月公表の「税効果に適用する税率に関する適用指針」までカバーしています。

(中央経済社 / PwCあらた監査法人編)



退職給付会計の実務マニュアル —基本・応用・IFRS対応—

(2016年3月16日)
 本書は「退職給付に関する会計基準」および同適用指針に沿って基本的な会計処理や他の制度への移行について解説する他、専門的な分野である退職給付債務の計算や税務上の取り扱い、内部統制についても解説しています。また、IFRS対応として、IAS第19号「従業員給付」に基づく退職後給付会計について解説し、日本基準との違いやIFRS移行時の検討ポイントにも触れています。

(中央経済社 / PwCあらた監査法人編)



エネルギー・資源投資の会計実務 —石油・天然ガス開発企業の 権益取得から廃鉱まで—

(2016年3月14日)
 本書は、ビジネスの仕組みやその会計処理が他の事業とは異なり、また独特かつ複雑な論点も多い石油・天然ガス事業について、権益取得から探鉱・開発・生産といったビジネスの流れとその会計上の論点を、石油・天然ガス上流事業に係る詳細な会計基準が設定されており、実務の蓄積も豊富な米国の会計基準と会計実務を参考として解説しています。

(中央経済社 / PwCあらた監査法人編)



会社法計算書類の実務 —作成・開示の総合解説— (第8版)

(2016年2月8日)
 本書では、会社法計算書類作成の実務に携わる方々の疑問を解消できるよう、最新の記載事例を多数収録し、計算関係書類などの作成方法や会社法の計算関係の最新の実務について平易に解説しています。今回の改訂では、2015年5月に施行された改正会社法および改正施行規則について、主に第3章「事業報告」において、改正の概要と事業報告書などへの影響について解説しています。

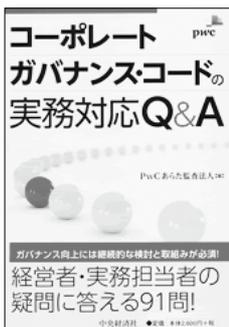
(中央経済社 / PwCあらた監査法人編)



クラウド・リスク・マネジメント

(2016年1月22日)
 多くの企業が直面するクラウドサービス利用に係るリスクが整理集約された本書は、企業がクラウドサービスを利用する際、把握しておくべきリスクと、適切に管理していく手法について解説しています。

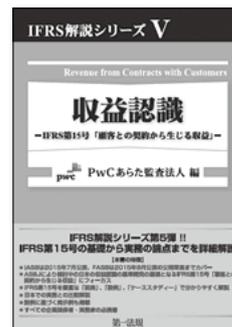
(同文館出版 / PwCあらた監査法人編)



コーポレートガバナンス・コードの実務対応Q&A

(2015年12月11日)
 コーポレートガバナンス・コードへの対応を継続的に検討する企業が、コードの各原則の意味を正しく理解することの一助になることを意図した本です。経営者や実務担当者の疑問に答えるべく、91のQ&Aで解説しています。

(中央経済社 / PwCあらた監査法人編)



IFRS解説シリーズV 収益認識 —IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」—

(2015年11月17日)
 本書は、IFRS適用企業において、収益認識に際して包括的かつ継続的に適用されることになるIFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」について、PwC accounting and financial reporting guideを基礎に、豊富な設例やケーススタディーならびに図表を用いて分かりやすく解説しています。また、日本の実務において、収益認識が問題となる取引の概要についての説明も含めています。

(第一法規 / PwCあらた監査法人編)